


(別紙様式第3号)

## 論 文 要 旨

### 論 文 題 目

Effects of personality traits and work-related attitudes on job stress  
among nurses in general hospitals

(総合病院看護師における仕事ストレスに気質性格因子と仕事スタイルが  
与える影響について)

氏 名 道下 聡 

う	つ	病	は	近	年	生	活	習	慣	病	と	並	ん	で	common	disease			
と	し	て	認	識	さ	れ	て	き	て	お	り	、	ま	た	わ	が	国	に	お
け	る	高	い	自	殺	率	の	背	景	因	子	と	し	て	も	重	要	な	問
題	と	な	っ	て	い	る	。	自	殺	危	険	要	因	の	多	く	が	職	場
や	就	労	関	係	の	も	の	で	あ	る	こ	と	や	、	労	働	災	害	や
長	期	休	職	者	の	う	ち	に	う	つ	病	の	占	め	る	割	合	が	
年	々	増	加	傾	向	に	あ	る	こ	と	、	経	済	情	勢	の	悪	化	か
ら	労	働	者	の	ス	ト	レ	ス	が	高	ま	っ	て	い	る	こ	と	な	ど
を	考	え	る	と	、	職	場	に	お	け	る	メ	ン	タ	ル	ヘ	ル	ス	対
策	は	喫	緊	の	課	題	で	あ	る	。	う	つ	病	の	予	防	的	観	点
か	ら	職	場	に	お	け	る	有	効	な	メ	ン	タ	ル	ヘ	ル	ス	対	策
を	考	え	る	た	め	、	今	回	我	々	は	労	働	者	の	気	質	・	性
格	や	仕	事	ス	タ	イ	ル	が	仕	事	ス	ト	レ	ス	に	ど	の	よ	う
に	寄	与	し	て	い	る	か	を	明	ら	か	に	す	る	研	究	を	行	っ
た	。																		
	対	象	は	総	合	病	院	に	勤	務	す	る	看	護	師	455	名	で	あ
る	。	対	象	者	の	気	質	性	格	因	子	を	Temperament	Character					
Inventor	y-125	を	用	い	て	測	定	し	、	仕	事	ス	タ	イ	ル	を	15		
問	の	ア	ン	ケ	ー	ト	に	よ	っ	て	、	仕	事	ス	ト	レ	ス	を	10
問	の	Visual	Analogue	Scale	に	よ	っ	て	、	そ	れ	ぞ	れ	調	査	し			



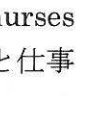
た	。	因	子	分	析	の	結	果	、	仕	事	ス	タ	イ	ル	は	diligence		
evaluation-seeking	、	low-confidence	、	self-sacrifice	、	over-self-reliance	の												
5	類	型	に	分	類	さ	れ	、	仕	事	ス	ト	レ	ス	は	overload	、		
insufficient evaluation	、	poor environmental support	の	3	因	子	に	分											
類	さ	れ	た	。	各	気	質	性	格	因	子	、	仕	事	ス	タ	イ	ル	、
仕	事	ス	ト	レ	ス	の	関	連	に	つ	い	て	パ	ス	解	析	を	行	っ
た	結	果	、	仕	事	ス	ト	レ	ス	に	至	る	3	つ	の	経	路	が	同
定	さ	れ	た	。															
	一	つ	目	は	高	い	持	続	・	協	調	性	、	低	い	新	規	性	追
求	・	自	己	志	向	か	ら	self-sacrifice	ス	タ	イ	ル	を	経	て	overload			
ス	ト	レ	ス	に	至	る	経	路	で	、	い	わ	ば	メ	ラ	ン	コ	リ	ー
親	和	型	う	つ	病	に	相	当	す	る	も	の	で	あ	る	、	こ	の	パ
タ	ー	ン	に	は	負	荷	の	軽	減	や	限	定	な	ど	業	務	量	調	整
が	必	要	と	考	え	ら	れ	た	。										
	二	つ	目	は	高	い	損	害	回	避	、	低	い	自	己	志	向	か	ら
low-confidence	ス	タ	イ	ル	を	経	て	insufficient evaluation	ス	ト	レ								
ス	に	至	る	経	路	で	、	経	験	・	技	能	不	足	の	も	の	に	相
当	す	る	と	考	え	ら	れ	る	た	め	、	適	切	な	評	価	を	伴	う
育	成	的	な	対	応	が	必	要	と	考	え	ら	れ	た	。				
	三	つ	目	は	低	い	自	己	志	向	、	協	調	性	か	ら			



平成 25 年 2 月 6 日

(別紙様式第 7 号)

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

報告番号	課程博 * 第 号 論文博	氏 名	道下 聡
論文審査委員	審査日	平成 25 年 1 月 22 日	
	主査教授	青木 一雄 	
	副査教授	大田 孝男 	
	副査教授	大戸 祐輔 	

( 論 文 題 目 )

Effects of personality traits and work-related attitudes on job stress among nurses in general hospitals (総合病院看護師における仕事ストレスに気質性格因子と仕事スタイルが与える影響について)

(論文審査結果の要旨)

上記の論文に関し、研究に至る背景と目的、研究内容、研究成果の意義、学術的水準について慎重かつ公正に検討し、以下のような審査結果を得た。

研究の背景と目的

うつ病はわが国における高い自殺率の背景因子として重要な問題となっている。自殺危険要因の多くが職場や就労関係のものであることや、労働災害や長期休職者のうちにうつ病の占める割合が増加傾向にあることなどを考えると、職場におけるメンタルヘルス対策は喫緊の課題である。本研究は労働者の気質・性格や仕事スタイルが仕事ストレスに与える影響を明らかにする目的で行われた。

研究内容

総合病院に勤務する看護師 455 名を対象として、気質・性格、仕事スタイル、仕事ストレスが調査された。気質・性格は Temperament Character Inventory-125 の 7 因子に、仕事スタイルは diligence、evaluation-seeking、low-confidence、self-sacrifice、over-self-reliance の 5 類型に、仕事ストレスは overload、insufficient evaluation、poor environmental support の 3 因子に、それぞれ分類された。気質性格因子、仕事スタイル、仕事ストレスの関連についてパス解析を行った結果、最終的に仕事ストレスに至るまでに 3 つの経路があることが同定された。

一つ目は高い持続・協調性、低い新規性追求・自己志向から self-sacrifice スタイルを経て overload ストレスに至る経路で、いわゆる古典的なメランコリー親和型うつ病に相当し、負荷の軽減や限定など業務量調整が必要と考えられた。二つ目は高い損害回避、低い自己志向から low-confidence スタイルを経て insufficient evaluation ストレスに至る経路で、経験・技能不足のものに相当し、適切な評価を伴う育成的な対応が必要と考えられた。三つ目は低い自己志向、協調性から over-self-reliance スタイルを経て poor

environmental support ストレスに至る経路で、現代型のディスチミア親和型うつ病に相当し、環境に対するストレスを低減するような環境調整が必要と考えられた。

#### 研究成果の意義と学術的水準

本研究の成果として、各種仕事ストレスは特定の気質性格因子とそれに関連した特定の仕事スタイルに影響されることが明らかとなった。これらは職場におけるメンタルヘルス対策に関して、予防的介入という見地から個別的かつ有効な戦略を示唆するものであり、その学術的意義は高いと考えられた。

以上より、本論文は学位授与に値するものであると判断した。

- 備考
- 1 用紙の規格は、A4とし縦にして左横書きとすること。
  - 2 要旨は800字～1200字以内にまとめること。
  - 3 \*印は記入しないこと。